

11/25

第1回垂井町庁舎のあり方検討委員会を開催



築48年が経過した町役場本庁舎の今後のあり方を検討するため、学識経験者、団体推薦者など15名から構成される委員会を開催しました。

委員長には出村嘉史岐阜大学工学部准教授、副委員長には安田政之岐阜県建築士会副会長が選出され、委員会への依頼事項を出村委員長に手渡しました。

委員会では、庁舎内を見学し、老朽状況や耐震内容を確認。その後、現庁舎の課題と状況について各委員からさまざまな意見が出されました。